タウン タウン 小麦

特定非営利活動法人
発　行　くまがや小麦の会
発行責任者　日向美津江
ホームページアドレス
http://www.kumagayakomuginokai.jp/
くまがや小麦の会　検索

NPO 法人
くまがや小麦の会
since 2006
事務局　〒360-0801　埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL. 048-521-7801

Interview シリーズ No. 9

熊谷の歴史に咲き誇る伝統の絆

ひと彩々

埼玉県立熊谷高等学校
校長　赤松（あかまつ）　峰親（みねちか）　先生

昭和２９年９月　生まれ
昭和４５年３月　寄居町立寄居中学校卒業
昭和４８年３月　埼玉県立熊谷高等学校卒業
昭和５３年３月　明治大学法学部卒業
平成２４年４月　県立熊谷高等学校に校長として赴任
平成２５年４月　埼玉県高等学校長協会北部地区会長

伝統の絆を引き継ぐ

今年、埼玉県立熊谷高等学校は創立一一八年を迎えた。創立一二〇年という節目を前に、熱き情熱と共に熊高を率いる赤松峰親校長に、熊高の現状と新たな時代に向けての決意を聞いた。

赤甍（あかいらか）に集う

埼玉県立熊谷高校は明治二十八年（一八九五）六月、埼玉県第二尋常中学校として創立された。それ以降、赤甍の下に多くの若人が集い、多分野で活躍する優秀な人材を輩出してきた。また、地域に愛される熊高として、地域の人々と協力しながら、この街を盛り上げてきた。現在、卒業生は三万人を超え、世界に「熊高」の名を轟かせている。

インタビューの冒頭、赤松校長は、「創立一二〇周年を前に、長い歴史の中で培われてきた熊高の伝統の絆を大切にしながら、新たな熊高の姿を発信していくことが重要な仕事です」と熱い想いを語ってくれた。

赤松校長自身もこの赤甍の下で高校生活を謳歌した人物である。熊高の歴史や校風を自ら感じている人物であるからこそ、この熊高に対しての明確なビジョンを持ち合わせている。

熊高の校風

熊高の校風は「質実剛健」、「文武両道」、「自由と自治」の三点。熊高の教育目標は「これからの日本と世界に貢献できる人材を育成する」が高らかに掲げられている。

熊高には制服がなく、多くの生徒は私服や部活のウェアで通学している。また、熊高には「各自図書館学習」、略して「カクト」と呼ばれる独自のルールがある。これは教諭が出張等で休講の際、各自が自由に図書館で勉強するというものであり、その時間に他の科目の授業を入れることも可能であるなど、いわば生徒の自主自立に委ねた伝統のシステムが残されている。

赤松校長は熊高ならではの校風を学校運営に生かそうと生徒や職員に対して提言を行ってきた。

「熊高らしさともいえる特徴を生かした上で、『文・武・行』に全力投球を、と呼びかけているところです。文は学業、武は部活動、行は学校行事のことであり、毎日の授業での熱心な学習はもとより、県大会や関東大会、更には全国大会に出場を目指した積極的な部活動での鍛錬や研鑽が大切であると考えます。また、これらに加えて、学校行事への参加を積極的に行ってほしいということです。熊高には四〇キロハイクや臨海学校など、ユーモラスなイベントが多くあります。これらの総合的な人間力の醸成によって、熊高生の可能性が広がるものと確信しています。」

熊高の新たな挑戦

熊高は平成二十三年度に「文部科学省スーパーサイエンスハイスクール」に、平成二十五年度に「リーダー育成・進学指導重点推進校」に指定された。また、平成二十年度から、熊谷高校を応援する有志の会による「紫雲塾」が開講されるなど、進学実績の向上に向けて様々な取り組みが行われている。県下有数の進学校という誇りと共に赤松校長の想いも現状と課題に向けられている。

「近年、地元の優秀な中学生が熊高ではなく、浦和高校や私学へ進学するという状況もあります。この現実を受け止めながらも、日々の授業や進路指導を通して、熊高生のポテンシャルを最大限に発揮させることが重要です。そして、難関大学などへの進学実績を上げ、中学生や保護者の皆さんに対して魅力を発信していけたらと考えています。」

地域貢献を目指して

赤松校長は、今後の熊高像を考える上で地域貢献というテーマが重要であると語る。

「現在、熊高卒業生や後援会を中心に発足した『熊高森づくりの会』が長瀞において植樹活動を行っています。また、部活動が活躍し、応援してくれる人を増やしていくことも大きな地域貢献であるように思います。例えば、熊高サッカー部は現在一五〇名を超える大所帯ですが、切磋琢磨し、地域の皆様から愛されるチームを目指しています。」

赤松校長からは笑みがこぼれた。部活動の応援に行き、観客者からの「頑張れ、熊高」という声援を聞く。それがまさしく、「愛される熊高」を感じる瞬間なのである。赤松校長は伝統の絆の継承と更なる進化を目指し、挑戦を続けている。

谷部正『校舎風景』

（Y）

母校を訪れて

埼玉県
北部地域振興センター
副所長　石川　勉

慶應義塾大学
法学部法律学科卒

私が在籍していた昭和50年代前半は、大宮から神保原までの高崎線沿線や羽生から秩父にかけての秩父線沿線、太田、館林などの群馬県からも広く生徒が集まっていました。

既に制服は自由化されていて、夏場はサンダルに素足で通学していました。大雨の日でも足を拭けば済み、靴下の心配がいらないというメリットがあった半面、混雑した電車の中で足を踏まれた時の痛みは忘れられない思い出です。

自習時間などは学食で早弁をしても、校外に出ても特にとがめられることもなく、ほぼ自己管理に任されていました。放課後の校庭もロック演奏を楽しむ生徒の側で運動部がトレーニングするといった感じで、あたかも大学のような雰囲気の高校だったと思います。

当時は、特別な受験指導はなく、文系・理系のクラス分けもありませんでしたが、生徒の自覚が高かったのか、有名大学にかなりの合格者を出していました。赤松校長から名画の話を聞き、本誌への掲載を仲介した関係で久々に母校を訪れましたが、今も自由な校風は脈々と受け継がれているようです。今後もよき伝統を活かして、バラエティに富んだ人材を輩出してもらいたいと思います。

＊NPO法人の支援を行っている埼玉県北部地域振興センターの熊高OBから寄稿していただきました。

麦笛

「ヴェニスの商人」

日向美津江

◆大宮から埼京線で二駅、与野本町駅下車。徒歩10分程一角曲がった所に”彩の国さいたま芸術劇場”の塔が招いている。沿道には縁の俳優さんの手形が並ぶ、「あら、蜷川さんの手、あまり大きくないのね。」今日の「ヴェニスの商人」は蜷川幸雄の演出、シャイロックを市川猿之助が演じる。川口市出身の蜷川幸雄氏は名門開成中学、高校卒業後、安井曽太郎に憧れ画家になろうと芸大を受験して失敗。表現の矛先は演劇へと向っていった。劇団を立ち上げ、演出家となり、「世界のニナガワ」の名を欲しいままにしている。受けて立つのはスーパー歌舞伎「ヤマトタケル」の亀次郎の四代目市川猿之助、異端と目される、二人のコラボを客席を埋め尽くした観客はどよめきの中で幕開きを待った。

◆中世イタリア、交易都市ヴェニスを舞台に繰り広げられる。シェークスピアの喜劇「ヴェニスの商人」の今回の公演はオールメール（男優）だけの出演）で上演された。歌舞伎を意識したオールメールであったのだろうか。歌舞伎と現代劇のコラボは歌舞伎の伝統を背負っての猿之助の演技が際立ち、観客は猿之助を追った。「法廷の場」のセリフの言い回し　所作は現代劇を演じながら伝統歌舞伎の奥深さを思った。「澤潟屋」の掛け声が聞かれそうな一場面であった。

◆ヴェニスの商人は正義感が強く、情け深い貿易商人アントーニオを指す。しかし多くの方は強欲なユダヤ人の金貸しシャイロックに心惹かれる。ユダヤ人の背負う十字架、それでも生きてゆく健気さまでも喜劇「ヴェニスの商人」は語っていたように感じられた。シャイロックは財産を没収（結果娘夫妻に行くのだから）され、歌舞伎の花道を演出したフィナーレが仕組まれていた。客席に降り通路を通る引っ込みであった。顔面では裁判に負け、財産をも没収された悔しさを演技し、シャイロックが通り過ぎた背中にスポットライトが当たる。アントーニオの胸肉１Kを切ることなく、財産も無事娘夫妻に渡すことができた安堵感を語っていた。

◆シャイロックは可愛らしかった。何を大切にするか、自分の責任で貫く馬鹿らしいほどの可愛らしさだ。現代を生き抜いて行くには、許されなくなった事かもしれない。

次号のお届けは2014年2月の予定です。　編集室　TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900

小麦の会 活動報告

6/1(土)　平山家で楽しむほたるの夕べ

重要文化財「平山家住宅」において、「平山家で楽しむほたるの夕べ」が開催されました。熊谷吹奏楽団による演奏から始まり、「琵琶・尺八・箏による和の響き」が披露され、約２００名の来場者が神秘的な音の世界を堪能していました。会場では、地場産品の販売の他、くまがや小麦の会によるお菓子などの販売が行われました。(Y)

6/15(土)第5回こうなんホタル祭り　熊谷市江南総合文化会館ピピア駐車場

第5回こうなんホタル祭りが開催されました。雨の中でのスタートとなりました。こうなんホタル祭りのために創作したホタルパン（オス・メス）は今年も好評でお陰様で完売いたしました。雨の合間を縫って、地元の方のご案内をいただきながら、ゆったりと飛び交うホタルの光を鑑賞し、幻想的な雰囲気を楽しむことができました。(M)

6/23(日)熊谷商業高校販売実習 熊谷駅コンコース

熊谷駅改札前にて、熊商販売実習が催されました。
今回は、「熊商生のアイデアで作りました。灼熱のあつべえカレーパン」の新発売にNHKの取材が入り、当日の夜と翌日の昼のニュースで放送されました。
熊商文化祭でも販売されました。次回は１２月の販売実習にて。ぜひお試しあれ。(T・M)

7/10(水)くまがや小麦の会暑気払いの会アコモデ

小麦の会暑気払いが開かれました。会場のアコモデに入れるか心配するほどの参加者（36名）があり、大盛況でした。会長の挨拶では、第一四半期決算状況、認定NPOへの現状などの報告がありま、また講師の熊谷市立江南文化財センターの山下さんの”熊谷の文化財”のお話は資料のご用意もいただき、とても解りやすく熊谷に生まれ育った私達も始めて知ることも沢山あり勉強になりました。食事も温かいものは温かく、冷たいものは器はもちろんスプーンまで冷たくて、心遣いも嬉しかったです。抽選会や米粉シフォンケーキの販売などあり楽しい時を過ごしました。(I)

7/23(火)～25(木)　大幡中学校職業体験

3日間、大幡中学の学生が職業体験学習に来てくれました。今年は男女1名ずつ参加で、パウンドケーキも焼成したり、サブレ包装など楽しく作業できました。暑い中ご苦労様でした。(K・M)

7/24～31八木橋地下1階特設ワゴン販売

大好評の地粉食パンBBB25にレーズン入りも仲間入りで、食パン中心の販売でした。おかげさまで食パンは完売。新商品の黒くまサブレも好評でした。(R)

7/27(土)雀幸園出張焼きそば講習会・大里夏まつり

大里商工会様に小麦の会が商品を提供いたしまして、販売は大里商工会様が行っていましたが、今年から小麦の会が出店することになりました。午前中、雀幸園で地粉やきそば講習会を実施して、お昼は園の皆様とご一緒に地粉焼きそばを頂きました。15:00からの大里夏祭りに販売する物も雀幸園の皆様と製造し、販売にもご参加頂きました。”農林61号”が”さとのそら”に品種が変更になっています。製麺所にさとのそらを持ち込み焼きそばを製造して頂きました。「地粉あつべえ焼きそば」となりました。会場では焼きそばの売れ行きが良く16:30には完売でした。夜の祭りに皆様がお出かけ下さる頃、暗雲立てこもり、風も激しくなって参りました。亜熱帯気候のスコールを思わせる嵐が会場を襲い、販売に参加した４人はずぶ濡れになり、商品が舞上がらないよう、段ボールで押さえました。サブレ、パンは濡れてしまいましたが、中までは大丈夫で、雀幸園の皆様に召し上がっていただきました。(H)

9/15(日)汐留なだ万ランチと劇団四季「ライオンキング」鑑賞バスツアー

台風18号の豪雨の中48名で参加したバスツアー。なだ万で美味しいランチを堪能し、ライオンキングを観劇。幕が上がると黄金色に輝く中を悠然とした姿で現れるキリンや象などの動物たちで会場を埋め尽くす。声量溢れる歌声や素晴らしい演技に感動し、すっかり虜になってしまった。「ハクナマタタ」人生そう生きてみたい。(Y・K)

10/3(木)高城神社明神市

AM10時より 毎年恒例の出店（雨天の場合中止）(I)

あの町この店

人への思い　酒への思い

近江屋酒店

代表取締役
村山貞男さん
〒三六〇〇〇一五
熊谷市肥塚四・七
☎〇四八・五二一・一〇〇九
http://www.oumiyasaketen.com/

今回お訪ねしたのは自社ブランドのお酒を数多く発売している近江屋酒店さまです。

会社は現社長の村山貞男氏が15歳の時滋賀県から修行のため熊谷に来て27歳で熊谷市桜町で独立開店、県道太田熊谷線の拡張により現在の肥塚に移転されました。そして、熊谷でさいたま国体が開催されるのを記念して何か熊谷のお土産になるものをと思い、最初は「おいしい熊谷の水」の商品化を考えたそうですが、川越にプルワリーができているのでお願いして「熊谷宿ビール」を販売、その後熊谷の古代米（黒米）を使ったお酒「熊谷美人」、日本で初めてとなる千葉の契約農家のソラマメ使ったソラマメ焼酎「豆蔵」などを発売しております。そして、熊谷市の酒店の活性化を目指し、熊谷が日本有数の小麦の産地なので小麦を使った焼酎の開発を思い立ち、いいお酒を造るにはいい材料から始めなくてはと小麦と麹に使う米作りに協力してくださる農家から探し始め、縁あって男沼の森さんにお願いできたそうです。

１００％熊谷産の小麦農林61号と米のきぬひかり、材料はそろっても小麦の産地なのに熊谷には専門の精麦所がなく、最初の年は深谷で、次の年からは量が増えたので四国の精麦所に送り醸造は鹿児島のメーカーにお願いして昔ながらの甕仕込みで作っているそうです。

最初の年は仕込んでから２ヶ月おきに試飲を送ってもらい４ヶ月目くらいでいくらかおいしくなってきたかな８ヶ月くらいでおいしい、という過程を経て、２０１１年名称を一般公募し、小麦畑の麦の穂が風に揺れて語り合っているように思えこのお酒を飲みながら皆で語り合いたい」という思いで付けられた「小麦たとこころ、小麦の華やかな香り、ほんのり甘くすっきりとした味わいで評判も良く今年は２８０００本位販売する予定です。社長のお勧めの飲み方はたっぷりの氷のロックで氷が溶けかかった時が最高だとか、また、２０１１年に仕込んで寝かせてあった３年物の「小麦の語らい８０００本、米年の６月に販売予定です。いま、社長がラベルやビンを考え中、米年が楽しみです。また、小麦は今年から県の奨励品種はさとのそらになりますが、農林61号で開発した焼酎なので引き続き森さんには農林61号を作っていただくそうです。

「社員が一番大事」とおっしゃる村山社長、人と人とのつながりを大切にし、お客様が今何を必要としているかを常に考えて行動し感謝の気持ちを持つよう教えているそうです。

「人を大事にする　感謝の気持ちを持つ」大事なことを教えていただきました。（K・H）

新商品紹介コーナー

熊工・ブルーベリーパウンドケーキ作りました！

くまがや小麦の会と熊工家庭科部で共同開発しました。このブルーベリーパウンドケーキは、熊谷産の「さとのそら」の小麦粉と江南産の「ブルーベリージャム」を混ぜ合わせて焼き上げました。

10月12日（土）
熊工祭で販売します
10:00～15:00

熊工は、建築・土木・電気・機械・情報技術の５科ある工業高校です。熊工祭では各科の特色を生かした展示や販売を行っています。家庭科部は、３種類（ブルーベリー・チョコチップ・バナナ）のパウンドケーキを販売します。

イベント出店予定

10月
- 12日(土)　大相撲熊谷場所　熊谷スポーツ文化公園　彩の国くまがやドーム
- 13日(日)　第6回ニャオざねまつり　コミュニティ広場
- 19日(土)　サッカー　大宮アルディージャ戦　熊谷市スポーツ文化公園陸上競技場
- 27日(日)　第8回こうなん祭り　江南総合文化会館ピピア駐車場
- 27日(日)　奈良フェスタ　熊谷市立奈良小学校

11月
- 16日(土)17日(日)　第9回熊谷市産業祭　熊谷スポーツ文化公園

12月
- 地粉シフォンケーキ講習会

1月
- わーくほーむ結　成人式出張パウンドケーキ講習会

■ 会員募集　賛助会員年会費 10,000円　一般会員年会費 一口1,000円　お申込み：TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900